

町会・自治会活動の
ヒントに

地域コミュニティ 活動推進フォーラム

いざという時に助け合える
地域コミュニティを目指して

開催日

令和7年2月16日(日) 14:00~16:00

会場

都議会議事堂 都民ホール

定員

120名

(事前申込制、先着順)

ファシリテーター
小山 弘美 氏



関東学院大学社会学部教授

第1部

パネルディスカッション



パネリスト
齊藤 広子 氏
横浜市立大学
国際教養学部教授



パネリスト
小野 悠 氏
豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授、
デジタル共創コミュニティ代表



パネリスト
谷 亮治 氏
京都市まちづくりアドバイザー、
花園大学講師

第2部

事例紹介・トークセッション

- 事例紹介団体
馬込三本松町会(大田区)
高瀬住宅自治会(町田市)

- パネリストとのトークセッション



パネリスト
津賀 高幸 氏
株式会社ダイナックス都市環境研究所



パネリスト
中山 エミリ 氏
タレント

地域コミュニティ活動推進フォーラム

いざという時に助け合える
地域コミュニティを目指して

プログラム

ファシリテーター 小山 弘美 氏

専門はコミュニティ論で、町内会・自治会やNPOと行政との協働が主な研究テーマ。
東京都「地域の底力発展事業助成」審査委員。

14:05～

第1部

パネルディスカッション

東京都が昨年5月に公表した調査結果を始め、各分野の有識者であるパネリストが町会・自治会についての現状と課題を意見交換し、町会・自治会がいざという時に助け合える地域コミュニティとしての役割をどのように発揮していくのかを議論します。

パネリスト 齊藤 広子 氏

筑波大学卒業。不動産会社勤務を経て、大阪市立大学大学院修了。英国ケンブリッジ大学研究員、明海大学不動産学部教授を経て、2015年より現職。国土交通省社会資本審議会住宅・宅地分科会会長等を務める。

パネリスト 小野 悠 氏

工学博士(東京大学)。アジアやアフリカで住民主体の都市計画・まちづくりを実践・研究。自治会のICT活用について、テクノロジーと共創する地域コミュニティの可能性を探究。日本学術会議若手アカデミー代表。

パネリスト 谷 亮治 氏

京都市まちづくりアドバイザー。NPO法人勤務を経て2011年より現職。博士(社会学)。花園大学講師。

15:05～

第2部

事例紹介・トークセッション

夏休み期間中の子供たちの居場所づくりや、様々な団体と連携した防災イベントといった工夫を凝らした取組事例について、企画・実施した町会・自治会の方にご紹介いただきます。事例紹介後には、パネリストを交えて、今後の町会・自治会活動のアイデアなどを考えるトークセッションを行います。

パネリスト 津賀 高幸 氏

滋賀県立大学環境科学部卒業後、入社。地域コミュニティ活動支援、被災者支援に関する業務に従事。東京ボランティア・市民活動センター運営委員。

パネリスト 中山 エミリ 氏

1978年、神奈川県生まれ。1994年にデビュー以来、数多くのドラマ、映画、CMに出演。また、情報・バラエティー番組の司会としても活躍の場を広げる。2010年に結婚し15年に女児を出産。

16:00

申込方法

参加をご希望の方は、公式サイトのお申し込みフォームに必要事項を入力し、お申し込みください。

URL

<https://region.forum2024.metro.tokyo.lg.jp/>



申込受付期間

2025年1月17日(金)14:00～2月7日(金)17:00まで

(お申込みは先着順となります。定員に達し次第終了となります。予めご了承ください。)

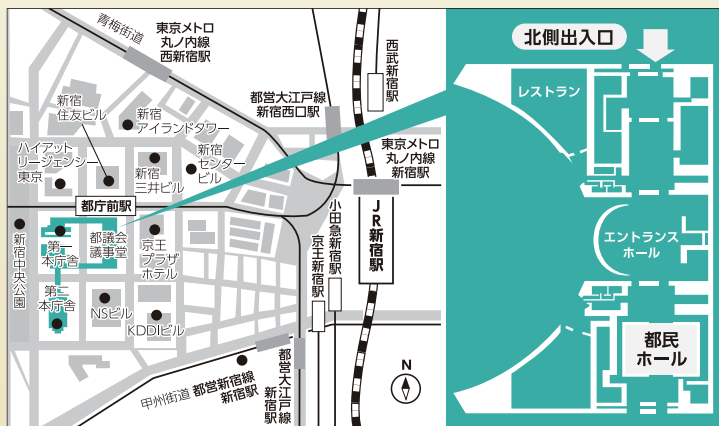
問合せ先

地域コミュニティ活動推進フォーラム事務局(株式会社ツクルス内)

TEL/03-6915-8003(平日10:00から17:00まで)

E-mail/region.forum2024@itto.co

会場アクセス



- 「JR新宿駅」(西口から徒歩約10分)
- 都営地下鉄大江戸線「都庁駅前」A3出口から徒歩1分
- 新宿駅西口(地下バスのりば)から都営バス(都庁循環)「都庁第一本庁舎」下車